

急成長するイスラム金融

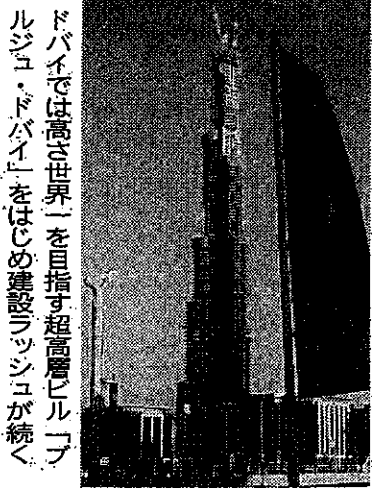
注目する日本勢

急成長するイスラム金融に対する日本の金融界の関心が高まっている。銀行に続き、証券業界にも動きは広がり、近く1兆円規模に達するという市場の開拓に向けた調査・研究が本格化する。一方で、日本の金融機関の中東進出が相次ぎ、中東の金融機関も日本に進出してきている。イスラム金融では利子をとることを養豚場経営への融資などを禁じているほか、日本の国内法との兼ね合いから参入は難しい。金融界の動きを探った。

証券界も参加

ラム金融サービス委員会
(IFSB、本部1マン)

先週末、イスラム金融（ Sharia・クアラシプリー）に関する規則や基準の統一化などを検討するイスラ協会、野村アセットマネ



ドバイでは高さ世界一を目指す超高層ビル「ブルジュ・ドバイ」をはじめ建設ラッシュが続く

(上)

シメント（東京都中央区）のマレーシア現地法人がオプザバー・メンバーとして加わった。すでに日本からは国際協力銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、

1兆ドル市場参入へ

証券調査・研究を本格化

銀行のマレーシア現地法人がオプザバーとして参加しており、日本でもイスラム金融に関する関心が日増しに高まる。

成長率10～20%

日本市場に関するイスラム銀行の関心も高い。ドハ銀行が1月に東京に駐在員事務所を開設した。また情報収集のレセル（ドハ銀行東京

駐在員事務所）だが、中に達する」（ドハ銀行の金融機関としては唯一の日本拠点となる。さらにイスラムの大手金融機関、クワット・ファ

進む資産回帰

イナンス・ハウスが年内にも都内に事務所を開設する見通し。サウジアラビアやドバイの金融機関

はロンドン、ニューヨーク、フランクフルト、東京、香港に匹敵する国際金融都市に成長するので（大手商社）と関係者の期待は大きい。

邦銀のドバイ進出も相次いでいる。三井住友銀行が3月に邦銀としては初めてドバイ支店を開設したほか、みずほコーポレート銀行も6月に、三菱東京UFJ銀行も9月にそれぞれドバイ出張所を開設している。ただ「日本企業のドバイ詣では続くが、ドバイの意思決定者は王族で、主族の資産管理会社の役員に会ってもなかなか話が進まないのが実情」（同）という。

また日本では銀行法で物品販売が禁止されているなどイスラム金融のスキームを活用するのが困難。「イスラム金融については研究段階」（大手銀行）で、邦銀がイスラム金融に参入するには時間がかかりそうだ。

注目する日本勢

金融

長きイスラム金融

注目する日本勢

イスラム金融について、イスラム金融に参入しての調査・情報収集に先駆けて取り組んできた国際協力銀行の前田匡史資源金融部長に、同金融の現状と課題などを聞いた。

◆ ◆ ◆
「米シティグループが90年代にバーレーンに金融子会社を設立したのを皮切りに、欧米の銀行がイスラム金融を手掛けてい

る。またデリバティブ(金融派生商品)やイスラム金融が世界

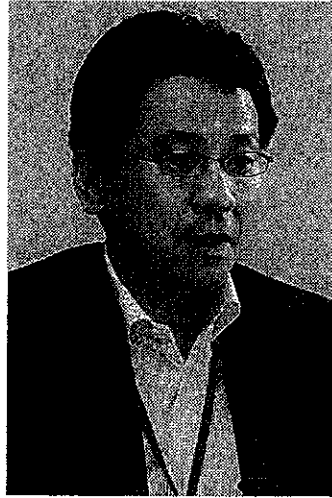
イスラム金融に参入しての調査・情報収集に先駆けて取り組んできた国際協力銀行の前田匡史資源金融部長に、同金融の現状と課題などを聞いた。

ラムの投資ファンド、損害保険など金融サービスも出そろいつつある。シヤリアの教義に反しない限りは、極力、多様な金融活動を認めていくというのが流れだ」

の金融市場に普及していくための課題は。「シヤリアの解釈が様でない点、イスラム金融の発展にとって障害の一つになっている。02年にイスラム金融サービス委員会(IFSB)が

メヤシ、日用品など実物資産に投資するには制約がある。マレーシアでは有価証券をアセットとする方法を開発。イスラム債券(スーク)を発行し、流通市場を整備している」

「ビジネスの契約履行の面など、日本企業に対する中東諸国の信頼度は高い。今やイスラム金融の存在は国際金融市場で無視できなくなっている。東京を国際金融センターとして発展させていくためには、通常の金融に加え、イスラム金融を受け入れていく必要がある。マレーシア、シンガポール、インドネシアのほか、1億人のイスラム教徒を抱える中国と連携し、アジア・ワイドで日本の存在感を高めていく必要がある。そのためには(政府などが)明確な政策目標を策定するべきだ」



前田 匡史氏に聞く

国際協力銀行資源金融部長

欧州勢のサービス先行

日本明確な政策プラン必要

組織され、同金融に関する規則や基準の統一化の検討などを行っている」

「マレーシアは海岸諸国に比べて、シヤリアの解釈が柔軟だ。イスラム金融の特徴はアセット・トレーディングが主体だが、不動産や金属、ナツ

「アジアの金融市場での日本の役割は期待されています」

(川瀬治、占部絵美)

金

融